

ふるさとを愛する心を育て、未来へ生きる力へ

<p>P T A 名称</p>	<p>下松市立豊井小学校 P T A</p>	
<p>所在地</p>	<p>下松市東豊井 1134 番地 1</p>	
<p>学校地域の 概要・組織</p>	<p>【学校地域の概要】</p> <p>豊井地区は山と海に挟まれ、身近に自然と歴史を感じることのできる地域である。また、大正時代から鉄道産業のまちとして発展し、現在も大規模工場が複数あり、ものづくりのまち下松を支えている。市の「まち作り計画」が始まり、ますますの発展が期待される。</p> <p>校庭には歴史あるプラネタリウムがあり、授業や星空観察会で使用している。中庭では野菜の栽培、中庭田でのもち米作りから餅つきなど、地域の方と連携し活動している。本校は今年度、創立 1 4 0 周年という節目の年を迎えた。この節目の年に豊井小、豊井地区の歴史を見つめなおし、次の世代へ繋げていけるよう考えている。</p> <p>【組織】</p> <p>学校運営協議会を中心に、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに取り組んでいる。学校行事においては、地域の方との繋がりが密にあり、学校・地域・家庭の全体で子どもたちの様子を見守ることができている。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div data-bbox="986 1704 1362 1877"> <p>学校運営協議会に子どもたちも参加し、小学校での活動報告や、地域への要望等も意見できる場となっている。</p> </div> </div>	

<p>研究テーマ</p>	<p>私たちの住むふるさとは、昔どんな姿だったのか。そしてどのように繋がりが、現在の姿があるのか。そこには、地域で生き、地域を支えた人たちがいる。小学校では、今を生き、未来の主役となる子どもたちが学んでいる。豊井に残されている歴史を知り、先人たちの思いや考えに触れることは、ふるさとへの誇りと愛着を育むと考える。冊子を手に取りまちを歩き、実際に見て聞いて、大人も子どもと一緒に歴史を学ぶ楽しさを知り、語り継ぎ、文化を引き継いでいくことを目的としている。</p>
<p>成果と課題</p>	<p>今回の冊子を作製することで、豊井地区の歴史に触れられたことはもちろんであるが、豊井の歴史を研究されている方、その他大勢の地域の方と繋がりをもつことができた。多くの方の手によって完成した冊子を手にとることで、知らなかった豊井のことを知ることができる。ふるさとをより愛することで、安心して帰って来られるまちになると思われる。</p> <p>今後は、豊井のことをより多くの人に知ってもらい、足を運んでもうことで、地域の活性化にも繋げていければと思う。</p>
<p>活動内容</p>	<p>【「とよい今昔ものがたり」の作成】</p> <div data-bbox="480 1189 946 1534" data-label="Image"> </div> <p>様々な文献や、豊井地区を研究されている方から、下松・豊井・豊井小の歴史を振り返る。</p> <p>豊井小のプラネタリウムを紹介した、昭和37年の新聞。</p> <p>今年度、ドームスクリーンを新しくし、投影機の補修を行っている。本校のプラネタリウムは、卒業生や地域の方にも思い入れのあるものである。</p> <div data-bbox="922 1615 1398 1912" data-label="Image"> </div>



公民館で開かれた、豊井を知る教室において、「豊井小の？」と題して、意外と知られていない豊井小の秘密を本校児童が地域の方に発表。

過去の文献等から、未来に伝えたいいろいろな情報を抜き出し、子どもたちはもちろん、誰が読んでも分かりやすい内容に仕上がるよう工夫している。

